

## 2026年度 日本道路株式会社 入社式 社長挨拶文

2026年4月1日  
代表取締役社長 石井敏行

新入社員の皆さん、本日は入社、誠におめでとうございます。日本道路を代表して、皆さんを心から歓迎いたします。今日という日を迎えられること、私たちも大変嬉しく思っております。

皆さんが社会人としての第一歩を踏み出すこの2026年は、社会全体が大きな転換点を迎えている変化の激しい時代です。気候変動への対応は待ったなしの状況にあり、脱炭素社会への移行も急ピッチで進んでいます。また、国内に目を向ければ、過去に整備されたインフラの老朽化が進んでおり、人々の安全で安心な生活基盤を守り、新しくしていくことが急務となっています。さらに、価値観や働き方も多様化し、本当の意味でのダイバーシティ&インクルージョンが求められる時代となりました。

私たち日本道路は、1929年の設立以来、道づくりをはじめ、スポーツ施設やレジャー施設の建設、アスファルト合材の製造・販売などを通じて、人々の暮らしや経済活動を支えてまいりました。

「道路」は、普段は当たり前存在として、あまり意識されることは少ないかもしれませんが、しかし、災害時や緊急時には、その大切さが改めて認識される、社会にとって決して欠かすことのできない基盤です。皆さんがこれから携わるのは、そのような「人々の当たり前の日常」と「安全・安心」を守る、非常に責任があり、そして誇り高い仕事であることを、ぜひ胸に刻んでおいてください。

さて、皆さんがこれから日本道路の社員として歩いていく中で、迷ったときに立ち返ってほしい「3つの原点」があります。それが、私たち日本道路の社是である「創意研鑽」「協調親和」「信用高揚」です。少し硬い言葉に聞こえるかもしれませんが、今の時代だからこそ、とても大切な意味を持っています。

一つ目の「創意研鑽(そういけんさん)」は、現状に満足せず、常に新しい発想で学び、挑戦し続ける姿勢のことです。建設業界も今、大きく変わろうとしています。当社も、祖業である道づくりに誇りを持ちながら、スポーツ施設などの新しい事業や、脱炭素化に向けた環境技術の革新など、新しい領域に果敢にチャレンジしています。皆さんにも、

「自ら考え、挑戦し続ける姿勢」を持ち、失敗を恐れずに新しい「道」を切り拓くチャレンジングであってほしいと願っています。

二つ目の「協調親和（きょうちょうしんわ）」についてです。道づくりや街づくりは、決して一人では完結しません。社内外の多くの方々、そして協力会社の方々と力を合わせ、お互いの違いを尊重し合いながら、一つの目標に向かって進むチームワークが何より大切です。皆さんの若々しいエネルギーと柔軟な発想で、ぜひ私たちの組織に新しい風を吹き込んでください。

そして三つ目の「信用高揚（しんようこうよう）」です。日々の「挑戦」と「チームワーク」の積み重ねが、確かな品質と安全を生み、やがて社会からの揺るぎない「信頼」へと繋がっていきます。これこそが、私たちが目指す「社会から信頼され、必要とされ続ける企業」になるための、最も重要な土台となります。

今日から皆さんは、社会の基盤を支え、未来の豊かな暮らしを創る日本道路の大切な仲間です。皆さんの若い力は、私たちにとって本当に大きな財産です。皆さんの成長が会社の新たな原動力となり、共に「持続可能な社会づくり」に貢献していけることを、私は確信しています。

まずは心と体の健康を第一に、明るく働き、プライベートも大切にしながら、大いに学び、大いに挑戦してください。皆さんのこれからの成長と活躍を心から期待して、私からの歓迎の挨拶といたします。

共に、安全で豊かな社会をつくっていきましょう。本日は、誠におめでとうございます。

以 上